FN D5G

 種類 : 散弾銃

 形式 : 上下二連 元折式

 商品名等 : FN Browning D5G

 口径 : 12 Gauge

 附属 : SHK 銃猟革具製作所製 縦入式 総革銃トランク 1

 emmebi社製 部分革キャンバス地 横入式 銃ケース 1

 価格 : \2,200,000 (税込)

約30年前、非常に耐久性が有り、メカ的には同等のモデルC3で、トラップ射撃を年間1万発以上撃って20年間以上使い続けた方が居ましたが、 私はこのC3を毎年メンテナンスしておりました。当時の装弾は32gでした。

その私が、今回、この同タイプの銃をオーバーホールして驚いたのが、非常に綺麗だということです。

通常ならば、撃針や撃針孔は煤に汚れ、撃針先端は針で突ついたようになっているのが普通ですが、それは有りません。機関部や銃身元部の綺麗に磨かれた面で曇っている所は有りましたが、錆は生じていませんでした。

おそらく、この銃の持ち主は、若い頃はともかく、最近はあまり撃っていなかったと推察されます。それでも錆が無かったのは、丁寧にクリーニングをしていたからでしょう。

また、銃の発射弾数の目安となるのが、開閉レバーを閉じた時の状態ですが、まだ右にやや斜めの状態、即ち、開閉レバーに連動しているロッキングは次第に銃身に深く入り込み、レバーが銃身とほぼまっすぐに近くなってくるものなのですが、そうなるまでにまだまだ充分に発射が可能、即ち、先程のC3に比べて1～2割程度の発射弾数ということです。

銃身内部も非常に綺麗で、薬室の先に有りがちな縦スジ等も有りません。惜しむらくはリブのカドを何かに当てたキズが有りますが、すぐには気付かない程度で、狙う時には分かりません。

30インチ、76.1cm、下17.8mm、上17.5mm、3/4－Full ワイドリブ付でトラップ射撃用です。照星はオレンジ蛍光照星に変更されています。

銃床は持ち主が熱心に亜麻仁油をやって手入れをして仕上がった状態になっており、左側面は非常に綺麗で、右側面に僅かに当てた跡が有ります。先台もちょっと爪が当たった跡が有りますが、綺麗です。

パッドは柔らかなクッションのHi-Viz製 Xcoil (22mm)に変更されており、銃床長はこれを含んで35cmです。オリジナルから2cm程度短くされてはいますが、日本人のほとんどの人にとって充分使用可能な寸法です。頬付け部分も低く削ってはありません。

トランクケースは、SHK銃猟革具製作所製、縦入れ式総革製、最高級のものと、イタリアemmebi社製、部分革キャンバス地、新品と言っても通りそうなくらいのもの、二つが付いています。